

(令和7年2月18日 総合教育会議資料)

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備について

尼崎市教育委員会

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備 【校名案】 について

R6.10

多様なアイデアを得るため、校名案の公募を実施



R6.11

有識者からの意見を参考に、30案に絞り込み



R6.12
~R7.1

子ども・若者・関係先に対し、アンケートを実施



R7.2

教育委員会において検討を重ね、3案に絞り込み



尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【校名案】について

候補1	候補2	候補3
(あまがさきことは) 尼崎市立 尼崎琴葉 中学校	(とうじょう) 尼崎市立 橙城 中学校	(ともさき) 尼崎市立 共咲 中学校

最終1案が仲間入り

現尼崎市立中学校（17校・1分校）		
尼崎市立 成良 中学校	尼崎市立 大成 中学校	尼崎市立 南武庫之荘 中学校
尼崎市立成良中学校 琴城 分校	尼崎市立 大庄 中学校	尼崎市立 武庫東 中学校
尼崎市立 中央 中学校	尼崎市立 大庄北 中学校	尼崎市立 常陽 中学校
尼崎市立 日新 中学校	尼崎市立 立花 中学校	尼崎市立 園田 中学校
尼崎市立 小田 中学校	尼崎市立 塚口 中学校	尼崎市立 園田東 中学校
尼崎市立 小田北 中学校	尼崎市立 武庫 中学校	尼崎市立 小園 中学校

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【入・転学】について

尼崎市における学びの多様化学校の概要

- ・校 種： 尼崎市立中学校 ＊校名は今後検討
- ・場 所： 成良中学校琴城分校跡地に建てる平屋施設
と成良中学校琴城分校の教室を併用
- ・開 校： 令和8年4月（予定）

・生徒数： 全校生徒40名程度（市内全域から通学可）

・対象者： 不登校状態にある生徒で、学びの多様化学校における教育活動によって、
自分の個性や主体性を発揮できると判断される生徒

学年	生徒数
第1学年	10～15名程度
第2学年	10～15名程度
第3学年	10～15名程度
合計	40名程度

『尼崎市における学びの多様化学校設置基本方針』抜粋

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備 【入・転学】 について

学びの多様化学校の設置に向けて【手引き】（令和6年2月改定：文部科学省）

《対象となる児童生徒の範囲》

対象となる児童生徒の範囲については、主に以下の2通りを想定している。

なお、入学希望の児童生徒が対象となるのかについては、当該学校又はその管理機関において、個別に判断する。

A 不登校状態である児童生徒	原則 として、文部科学省の調査における基準等の明確な基準を設け、その基準に則り、不登校状態であると判断した児童生徒。
B 不登校傾向が見られる児童生徒	Aのような基準に該当しない児童生徒であっても、不登校傾向が見られ、その後不登校となる蓋然性が高いと考えられる場合は、対象と なり得る 。

● ①～③の要件をすべて満たす



● 教育委員会が実施する面接を受ける



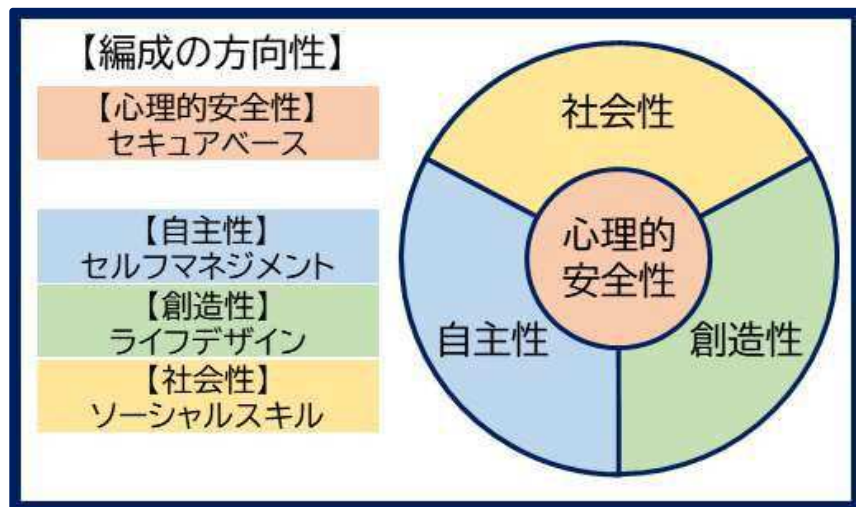
● 教育委員会が設置の会議体において入学・転学を判断

① 尼崎市内に居住していること。

② 不登校状態である（文部科学省の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における「不登校」に該当する）又は不登校傾向が見られること。

③ 尼崎市の学びの多様化学校の教育課程や特徴を理解した上で、本人・保護者ともに入学・転学を希望するとともに、登校して学ぶことを希望すること。

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【教育課程】について



特別の教育課程を編成し、
ゆとりと特色ある学びの実現を図る

**2～3割
削減**

**5分
短縮**

1週●時間×年35週に削減



年1,015時間 = 1週29時間×年35週

標準の授業時数
(年1,015時間)

標準の授業時間
(1単位50分)

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【教育課程】について

		各教科の授業時数									特別の 教科で ある 道徳 の授業 時数	総合的 な学習 の時間 の授業 時数	特別 活動 の授業 時数	新設 教科 の授業 時数	総 授業 時数
学年	特別	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	外国語					
	標準														
第1学年	特別	105	70	105	70	17.5	17.5	52.5	17.5	105	0	175	35	0	770
	標準	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35	0	1,015
第2学年	特別	105	70	70	105	17.5	17.5	52.5	17.5	105	0	175	35	0	770
	標準	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35	0	1,015
第3学年	特別	70	105	105	105	17.5	17.5	52.5	17.5	105	0	140	35	0	770
	標準	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35	0	1,015
合計	特別	280	245	280	280	52.5	52.5	157.5	52.5	315	0	490	105	0	2,310
	標準	385	350	385	385	115	115	315	175	420	105	190	105	0	3,045

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【教育課程】について

	標準	尼崎市における学びの多様化学校		
授業時数	年1,015時間 29時間／週 × 年35週	年770時間 22時間／週 × 年35週	標準より各1時間／週を削減 国語、社会、数学、理科、外国語 2週に1時間ずつに削減 音楽、美術、技術・家庭 標準の半分に削減 保健体育	総合的な学習の時間を拡充 (道徳を統合) (9教科削減分の一部を追加)
授業時間	単位時間 50分	単位時間 45分		

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【教育課程】について

総合的な学習の時間の拡充

一人ひとりがウェルビーイングの向上を実現できるよう、教育的ニーズに応じながら探究的な学習の過程を一層重視

個別最適な学びを重視した科目の設定

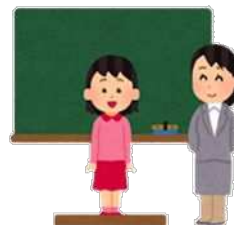
【キーワード】

- ・教科学習
- ・学び直し
- ・自己調整力
- ・S S T
- ・インプット
- ・自分のペース
- ・好き得意
- ・対話
- ・自主性
- ・学びの保障

協働的な学びを重視した科目の設定

【キーワード】

- ・探究
- ・キャリア
- ・余暇
- ・創造性
- ・ゲストティーチャー
- ・体験
- ・生き方
- ・つながり
- ・社会性
- ・アウトプット



尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【教育課程】について

学級編制（関係法令による原則）

同学年 ベース	生徒数	学級数
第1学年	10～15人程度	1学級
第2学年	10～15人程度	1学級
第3学年	10～15人程度	1学級
計	40人程度	3学級

同学年ベースのみでは、
1学級ずつのため、
クラス替えができず、
人間関係の固定化が
生じる。

生徒同士の**人間関係**
に一定の流動性を
持たせる工夫・仕組み
が必要である。

異学年ベースも構成

～人間関係の広がりや子どもたちの力の向上～

尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【教育課程】について

同学年・異学年ベースのイメージ

同学年 ベース	生徒数	学級数	異学年ベース			
			I 組 (仮称)	II 組 (仮称)	III 組 (仮称)	
第 1 学年	10～15人程度	1 学級	3～5人程度	3～5人程度	3～5人程度	9 教科授業は同学年ベース とするが、状況によって異学年のものにも参加できるよう検討 【9教科】 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語
第 2 学年	10～15人程度	1 学級	3～5人程度	3～5人程度	3～5人程度	
第 3 学年	10～15人程度	1 学級	3～5人程度	3～5人程度	3～5人程度	
計	40人程度	3 学級	10～15人程度	10～15人程度	10～15人程度	



尼崎市における学びの多様化学校の設置準備 【学校施設】 について



学びの多様化学校（イメージ）

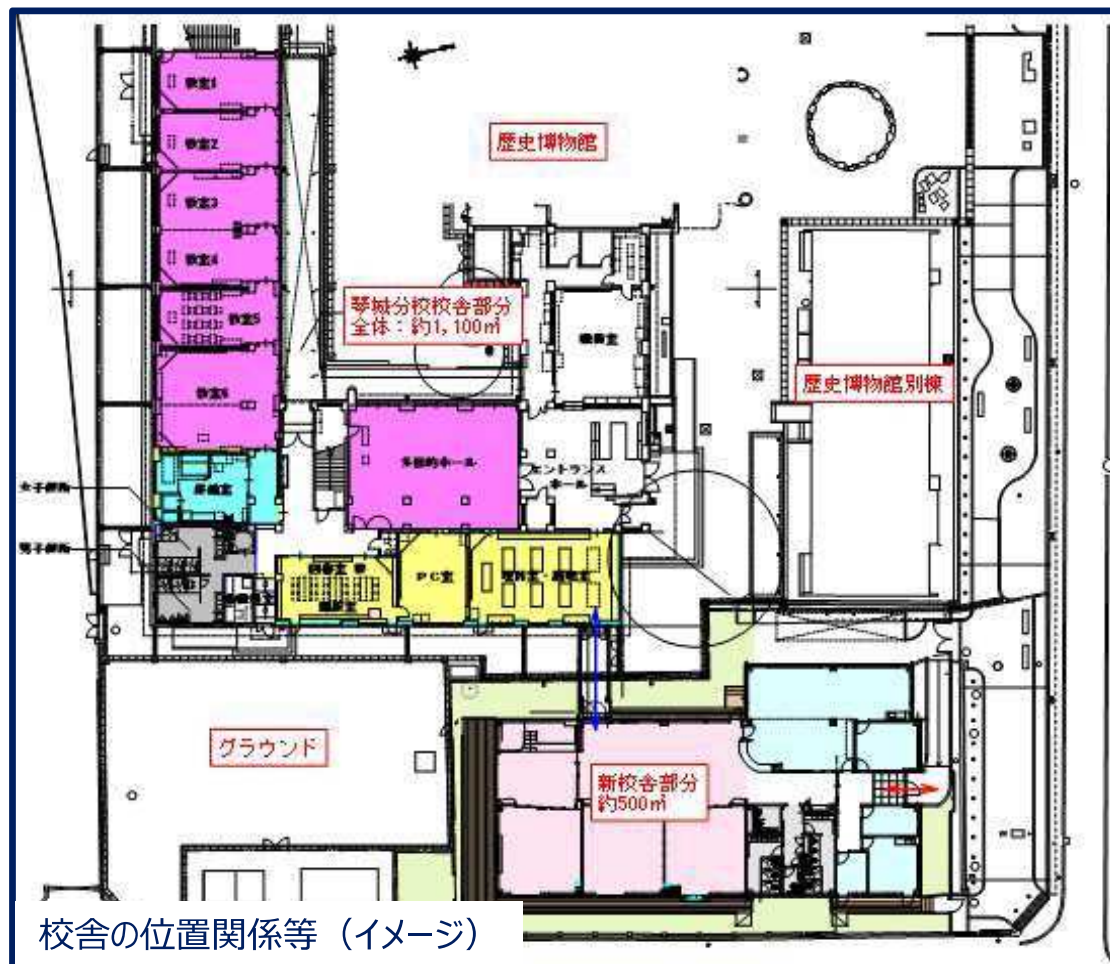
尼崎市における学びの多様化学校の設置準備【学校施設】について



歴史博物館



成良中学校琴城分校



校舎の位置関係等（イメージ）



中央図書館



琴ノ浦高等学校